

予防に優る防除なし てんさいの 根腐病・葉腐病防除に!

殺菌剤

農林水産省登録
第20067号

モンセレン®

顆粒水和剤

特長

- 根腐病防除は発病させないことが重要です。
予防効果に優れるモンセレンが最適です。
- 定植前の苗床灌注と本圃の体系防除で、優れた効果を発揮します。
- 根腐病と葉腐病をおこすリゾクトニア菌に対し、優れた効果を示します。
- 残効性が長いので、根腐病と葉腐病に対し、安定した効果が期待できます。

多発要因

- 連作による、越冬菌核密度の増加
- 高温多湿
- 中耕時の過密な土寄せによる葉柄部と汚染土壌の接触
- 窒素質肥料の多用

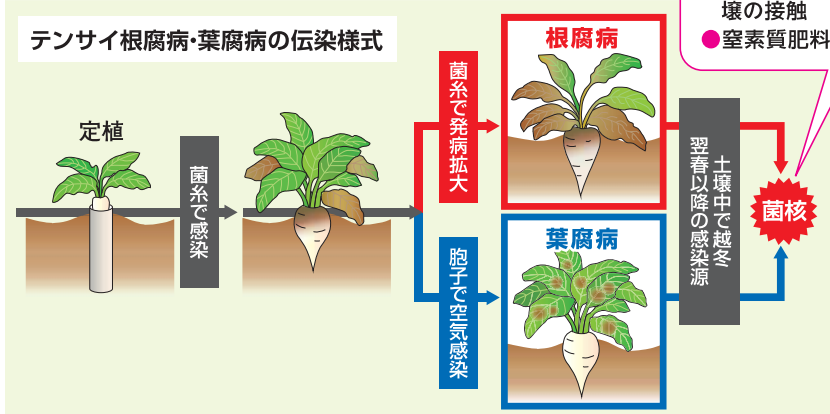


根腐病



葉腐病

てんさい根腐病・葉腐病の伝染様式



日本曹達株式会社

®はゴーワン クロップ プロテクション社の登録商標です。

殺菌剤

モンセレン[®] 顆粒水和剤

有効成分：ベンシクロン……………50.0%

殺菌剤分類 20

人畜毒性：普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

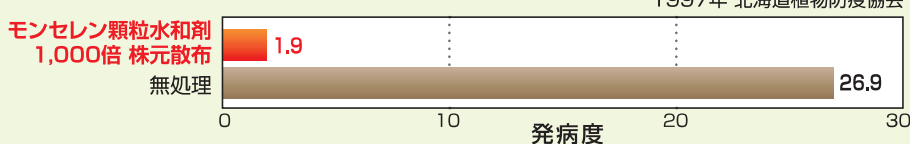
適用病害および使用方法(抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	ベンシクロンを含む農薬の総使用回数	使用方法
てんさい	葉腐病	1,000	100~300ℓ/10a	収穫30日前まで	4回以内	4回以内 (灌注は1回)	散布
	根腐病	200	ペーパーポット 1冊当たり 1ℓ(3ℓ/m ²)	定植前	1回		灌注

※その他適用作物に、ばれいしょの種いも消毒に登録があります。

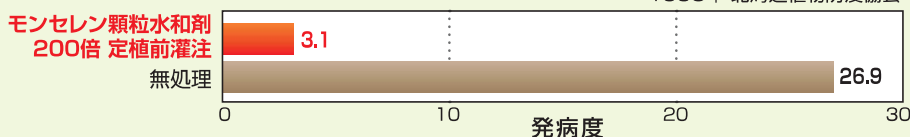
試験成績(てんさい)

●株元散布による根腐病に対する効果



品 種：ハミング(移植)
 発生状況：甚発生(接種)
 区制・面積：1区14.35m² 104株 3連制
 処理月日：7/9,15 小型電動噴霧器を用いて200ℓ/10aを株元散布
 調 査 日：8/21(地上部)

●苗床灌注による根腐病に対する効果



品 種：ハミング(移植)
 発生状況：甚発生(接種)
 区制・面積：1区14.35m² 104株 3連制
 処 理 日：4/30(定植前日) 1ℓ/1冊を苗床灌注
 調 査 日：9/10

モンセレン顆粒水和剤の上手な使い方

	4月	5月	6月	7月	8月
	育苗	定植	根部肥大開始	莖葉伸長最盛	根部肥大
病害の発生				根腐病(本畑)	葉腐病
処理		根腐病(苗床灌注) モンセレン顆粒水和剤 200倍 定植前	根腐病(株元散布) モンセレン顆粒水和剤 1,000倍 6月上旬~下旬		葉腐病(莖葉散布) モンセレン顆粒水和剤 1,000倍 7月下旬~8月

防除のポイント

- 根腐病は、根部収量低下が著しい。▶ 予防散布が大切
- 根腐病は、予防が重要です。▶ 苗床灌注処理と本圃体系防除が必要。
- 根腐病防除により葉腐病発生が抑制されます。

モンセレン顆粒水和剤は、根腐病に対する予防効果と残効性に優れます。

⚠ 効果・薬害等の注意

- ばれいしょに使用する場合、処理した種いもはよく風乾してから植付けてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 粉末は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。

保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号

お問合せ (03)4212-9655

(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



最新の登録内容、SDSはこちら

本資料は2024年12月現在の登録内容に基づいています。